

## 研究主題 多様な他者と協働して楽しく豊かな生活をつくる これからの学校行事の創造 ～ウェルビーイングの深化を目指して～

### I 団体の概要

昭和33年の学習指導要領改訂に伴い、小学校の教育課程に「学校行事等」が誕生した。この時から教育課程は、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭及び体育の各教科、並びに道徳、特別教育活動及び学校行事等によって編成されることとなった。このことを受けて、昭和38年、初代 田甫勝次会長を中心に「東京都小学校学校行事等研究会」が発足し、2年後の昭和40年、田甫会長の声掛けにより、「全国小学校学校行事等研究会」が結成された（昭和46年・平成元年に会名変更）。以後、本研究会は、全国組織である全国小学校学校行事研究会と深い連携をとりながら、東京都内の小学校での学校行事の実践交流、情報の交換等によって学校行事の教育の推進と充実を図ることを目的として研究を重ねてきた。

令和6年8月、全国小学校学校行事研究会と東京都小学校学校行事研究会の共催により、第58回小学校学校行事研究全国大会東京大会を開催し、全国の実践事例が報告された。また、全国から約250名の先生方が参加し、盛会に終えることができた。

### II 研究組織と取組

令和6年度は90名程で構成されている。年度当初に各区市町村から理事及び部員を募り、6月に定期総会及び講演会、8月に夏季研修会を実施している。1月から2月に、東、北、南、西の都内4地区においてそれぞれ地区別研究発表会を実施している。例年およそ30～50名程の参加があるが、近年はコロナ禍の影響により、紙面での発表を行っている地区もある。

会報を年間2回、研究集録を年度末に都内各教育委員会及び小学校に向けて発行し、研究活動の普及・啓発を行っている。

### III 研究主題設定の理由

今日、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた。令和3年1月に中央教育審議会答申として示された「令和の日本型学校教育」の在り方として「一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となること」ができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。その目指す姿として「すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」が掲げられており、特に「協働的な学び」については、「同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや他の学校の子供との学び合い等も含むものである。知・徳・体を一体で育む『日本型学校教育』のよさを生かし、学校行事や児童会（生徒会）活動等を含め学校における様々な活動の中で異学年間の交流の機会を充実することで、子供が自らのこれまでの成長を振り返り、将来への展望を培うとともに、自己肯定感を育むなどの取組も大切である」とあり、学校行事・特別活動の重要性が明記されている。

特別活動は、3つの視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に基づいて目標の達成を目指しており、「令和の日本型学校教育」の中核ともいえるべき役割を担っているが、その中で学校行事は、全校や学年などの大きな集団の中で、多様な他者と協働し、合意形成を図りながら協力して取り組むことを通して、集団への所属感や連帯感を高め、よりよい生活をつくろうとする態度や自他の尊厳を重んじる態度などを養う大切な活動である。

これらの背景を踏まえ、学校行事ならではの仲間体験、本物体験、感動体験を通して、子供たちが自主的、実践的に取り組み、集団の中での役割を果たしながら協働することで、楽しく、豊かな学校生活を自らの力で創り上げる達成感、満足感を味わうこと、その過程において、子供たちと、その成長を支える全ての人たちによるウェルビーイングの深化が計られることを目指し、本研究主題を設定する。

#### IV 研究の視点

- ① 「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」につながる学校行事の在り方を追究する。
- ② 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせることにつながる学校行事の在り方を追究する。
- ③ 様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することにつながる学校行事の在り方を追究する。
- ④ 全校または学年という大きな集団を単位として活動するという特質を生かし、集団への所属感や連帯感を深めること、公共の精神を養うことなどにつながる学校行事の在り方を追究する。
- ⑤ ウェルビーイングの観点から、学校行事における諸活動の意義を検証する。
- ⑥ 学校行事がカリキュラム・マネジメントの核となることを意識し、各教科等との関連も踏まえた全体計画の在り方を検証する。

#### V 第58回小学校学校行事研究全国大会の概要

日 時 令和6年8月6日（火）、7日（水）  
 会 場 羽田イノベーションシティ コングレスクエア羽田  
 第一日 全体理事会 開会式 総会 アトラクション  
 國學院大學教授 杉田洋先生の記念講演 歓迎レセプション  
 第二日 分科会（提案・協議・指導講評）  
 第一分科会…儀式的行事（東京都）  
 第二分科会…文化的行事（東京都、大阪府）  
 第三分科会…健康安全・体育的行事（東京都、香川県）  
 第四分科会…遠足・集団宿泊的行事（埼玉県、兵庫県）  
 第五分科会…勤労生産・奉仕的行事（東京都）

#### VI 地区別研究発表会の概要

- 【東地区】…台東・墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川  
 研究集録による紙面発表
- 【北地区】…千代田・中央・新宿・文京・中野・杉並・豊島・北・板橋・練馬・島しょ  
 研究集録による紙面発表
- 【南地区】…港・品川・目黒・大田・世田谷・渋谷  
 日時 令和7年1月17日（金） 14時30分～  
 場所 品川区立立会小学校  
 発表 渋谷区立千駄ヶ谷小学校（文化的行事）  
 世田谷区立千歳台小学校（遠足・集団宿泊的行事）  
 講演 和久井 伸彦 先生（文部科学省初等中等教育局 教科調査官）
- 【西地区】…多摩地区の市町村  
 日時 令和7年2月14日（金） 14時00分～  
 場所 府中市立府中第二小学校  
 発表 昭島市立拝島第一小学校（健康安全・体育的行事）  
 講演 杉田 洋 先生  
 （元文部科学省初等中等教育局視学官 國學院大学人間開発学部教授）

#### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都小学校学校行事研究会	
代表者	所属	調布市立飛田給小学校	
	職 氏名	校長 松田 隆	
	連絡先	042-487-2815	
事務局	所属	八王子市立上巻分方小学校	
	職 氏名	校長 山久保 正治	
	連絡先	042-651-1961	
団体ホームページ	URL	<a href="https://tosyo-gyou.com/">https://tosyo-gyou.com/</a>	二次元コード
			